

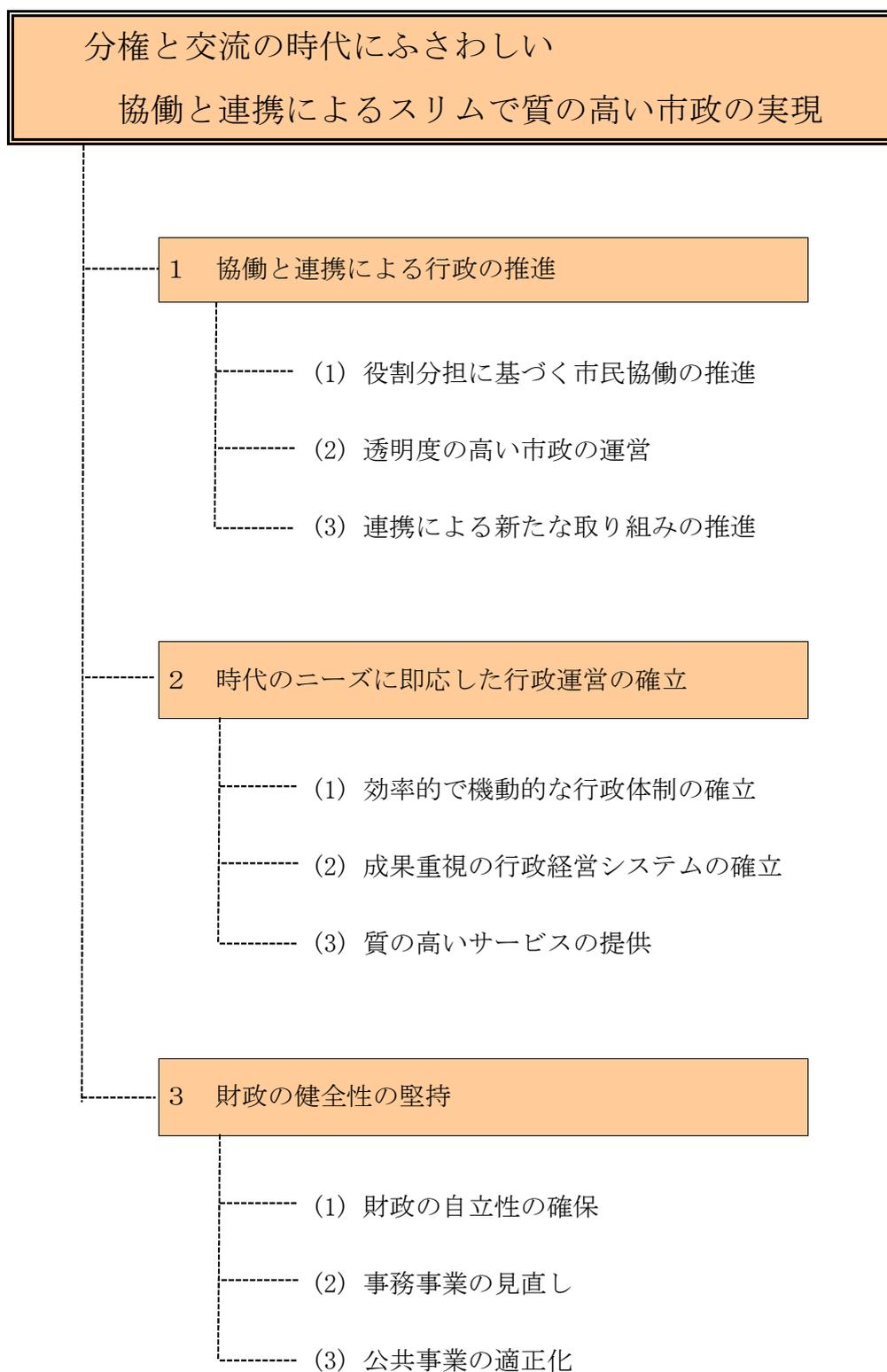
## 金沢市行政改革実施計画の取組状況等

平成24年6月

# 目 次

I	行政計画実施計画の体系	1
II	重点目標の取組結果	2
III	平成23年度実施済となった事項	5
IV	実施計画を見直す事項	14
V	実施計画の進捗率	17
VI	平成24年度における新規取組事項	18

# I 行政改革実施計画の体系



## Ⅱ 重点目標の取組結果

### 1 財政に関する重点目標

#### ① 実質公債費比率の抑制

(単位：％)

no. 150	区 分	(参考) H21	H22	H23 決算見込み	H24 予算ベース	H25	H26	参考資料 掲載ページ
実質公債費比率	目標	9台	9台	9台	9台	9台	9台	33
	実績	9.1	9.2	8.8	8.7	—	—	
中核市平均		10.0	9.7					
中核市順位		16	17					

中期財政計画に基づき、安易な起債発行を慎むとともに、市債の繰上償還等を実施し、実質公債費比率を10%未満に堅持しています。

「実質公債費比率」・・・起債制限比率をさらに厳格化し、公営企業債等の償還に充当した繰出金などを債務として算定する指数です。  
警戒ラインは18%です。

#### ② 経常収支比率の堅持

(単位：％)

no. 153	区 分	(参考) H21	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料 掲載ページ
経常収支比率	目標	88台	87台	87台	89台	89台	89台	33
	実績	89.9	88.3	未確定	—	—	—	
中核市平均		92.2	89.5					
中核市順位		13	18					

中期財政計画を踏まえ、職員定数の適正化や一般行政経費の節減、公債費の抑制など、硬直化する財政構造の柔軟化を図り、将来を見据えた財政運営に心掛けていきます。

「経常収支比率」・・・地方税、地方交付税等を中心とする経常的に収入される一般財源が人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経常経費にどの程度充当されているかを示す割合で、この比率が低いほど弾力的な運営ができます。

#### ③ 公共事業費規模の適正化

(単位：億円)

no. 197	区 分	(参考) H21	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料 掲載ページ
公共事業費	目標	233	234	239	187	187	172	41
	実績	233	234	239	187	—	—	
中核市平均		175	171	177	164			

平成24年度中期財政計画に基づき、地域経済への影響に配慮して中核市平均を上回る180億円程度を確保するため、重要既定事業は計画に沿って実施するとともに、それ以外の公共事業費については平成24年度予算の85%に抑制し、規模の適正化に努めます。

#### ④ 市税収入の確保

(単位：%)

区 分		(参考) H21	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料 掲載ページ
no. 159 市 税 収 入 率	目標	94	94	94	94	94	94	35
	実績	93.5	92.9	未確定	—	—	—	
中 核 市 平 均		92.6	92.6					
中 核 市 順 位		13	17					
no. 160 市税口座振替加入率	目標	32	34	35	36	37	38	35
	実績	33.4	33.9	35.4	—	—	—	
中 核 市 平 均		30.9	30.6					
中 核 市 順 位		12	11					

納税通知書に口座振替の案内及び返信用封筒を同封するなど、口座振替利用者の獲得に努め、平成23年度は2,062件の口座振替利用者の増加がありました。

#### ⑤ 土地開発公社の経営健全化

(単位：%)

no. 154	区 分	(参考) H21	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料 掲載ページ
保有土地簿価総額 ／ 標準財政規模	目標	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下	33
	実績	18	12	10	—	—	—	
5年以上保有土地簿価総額 ／ 標準財政規模	目標	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	33
	実績	10	10	9	—	—	—	

土地利用計画等に基づく再取得や遊休地の売却に努め、土地の簿価総額を標準財政規模の25%以下に、5年以上保有している土地の簿価総額を標準財政規模の10%以下に抑制しました。

## 2 職員に関する重点目標

### 職員定数の適正化

(単位：人)

no. 91	区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	参考資料 掲載ページ
職員定数	目 標	3,406	3,391	3,381	3,371	3,366	3,356	21
	増減数（前年度比）	基準年	△ 15	△ 10	△ 10	△ 5	△ 10	
	増減数（22年度比）		△ 15	△ 25	△ 35	△ 40	△ 50	
	実 績	基準年	3,391	3,385	—	—	—	
	増減数（前年度比）		△ 15	△ 6	—	—	—	
	増減数（22年度比）		△ 15	△ 21	—	—	—	

定員適正化計画に則り、事務事業の効率化及び委託化の推進などにより定数を6人削減しました。地域主権改革推進に伴い、県からの権限移譲への対応による増員分（4人）を除き、実質10人を削減しています。

#### <主な増員の内訳>

- ・地域主権改革推進に伴う権限移譲への対応 4人
  - ・北陸新幹線金沢開業準備への対応 2人
  - ・生活保護への対応 2人
  - ・その他 11人
- シティフルマラソン開催準備室の拡充、  
金沢学生のまち市民交流館開館など

#### <主な減員の内訳>

- ・西部環境エネルギーセンターの完成 △5人
- ・ごみ収集体制の見直し △4人
- ・統一地方選の終了 △2人
- ・事務体制の見直し等 △14人

## 3 協働に関する重点目標

### 協働の担い手の育成

(単位：団体)

区 分		(参考) H21	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料 掲載ページ
no. 15	目標	—	25	30	35	40	45	3
エコネット連携団体数	実績	20	25	35	—	—	—	

市民と行政が相互に協力し、補完し合う協働のしくみを整えるため、その担い手となるボランティアや市民団体の育成を推進しています。

### Ⅲ 平成23年度実施済となった事項

#### 1 協働と連携による行政の推進

##### (1) 役割分担に基づく市民協働の推進

###### ア 役割分担のための事業の総点検

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
2	コミュニティ活動と公共サービスのあり方の検討	金沢らしい公共サービスのあり方として、地域自らの特性を踏まえた、地域主体による助け合い（共助）に対し、市が支援すること（公助）、及び、地域主体では解決困難な課題に対し、新しい公共に期待すると同時に、市が地域と結びつけることを基本方針として、今後、取り組んでいくこととしました。	1

###### イ 協働の担い手の育成

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
301	学生のまち推進フォーラム（仮称）の開催	協働の担い手として学生のまちづくりへの参画を一層促進するため、まちづくりに携わる県内外の学生約250人が、「金沢を盛り上げる」をテーマに意見交換するとともに、事業を企画提案し、5事業に取り組むこととしました。	3

###### ウ 新たな協働のしくみの構築

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
17	市民協働団体の登録制度の導入	市政の各分野において、協働が可能な団体を35団体登録（H24.5現在）しました。今後も、団体活動の周知や団体同士のネットワーク形成などの団体育成支援を図るとともに、市との協働事業への参画を希望する団体を把握し、協働のまちづくりを推進していきます。	3
18	協働推進モデル事業の導入	市政の各分野において、市民と協働で実施した方が効果があると考えられる事業を、①福祉・生活、②次世代育成、③スポーツ・健康、④環境・自然、⑤地域活性化の5つの分野で市民から募集し、協働推進モデル事業として実施しました。	3

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
303	「マナー条例」（仮称）の制定の検討	市民ぐるみでのグッドマナーの取り組みを進めるため、「金沢市におけるぼい捨て等のない快適で美しいまちづくりの推進に関する条例（H24. 4. 1施行）」を制定しました。	5
304	地元密着型プロスポーツチームの市民との交流の推進	スポーツの振興と地域の活性化を図るため、地元密着型のプロスポーツチームの、ホームゲームの応援のほか、応援デーやファン感謝デーを開催し、市民との交流を支援しました。	5
305	NPO団体等との協働による金澤町家の流通の促進	町家の流通を促進するため、NPO法人金澤町家研究会に委託し、町家の所有者と購入・借家希望者に情報発信や助言を行うとともに、相互の調整を図りました。	5

## エ 市民協働による活動の推進

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
307	森林ボランティアによる荒廃竹林の伐採モデル事業の実施	3つのNPO団体等と「市民協働荒廃竹林伐採モデル事業実施協定」を締結し、協働して荒廃竹林の伐採活動に取り組むこととしました。	9

## （２）透明度の高い市政の運営

### ア 行政評価制度の拡充

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
44	行政評価制度の充実 ・行政評価の精度の向上 (費用対効果の徹底)	人件費等を含めた費用対効果や目標達成度、公的関与の妥当性、市関与の妥当性、実施主体の妥当性などの評価項目による評価を実施し、透明性と合わせ精度を高めました。	9
45	行政評価結果の詳細な公表	特に、外部評価である市民行政評価に関し、事業の成果指標や費用のほか、評価委員会における議事内容、詳細な資料、各委員からの個別の意見などを市HPで公表しました。	9
48	金沢美術工芸大学の業務実績評価の導入	外部有識者により構成する評価委員会を設置し、業務実績の評価等を通して改革・改善につなげるとともに、適正で透明性の高い法人運営に寄与しました。	9
308	市民行政評価制度の導入	より多くの市民の意見を行政評価に反映させるため、事前に市民からの意見を募集し、いただいた32件のご意見を踏まえ、評価委員会で評価を行いました。合わせて、評価結果のほか議事内容などをわかりやすく公表しました。	9

## イ わかりやすい市政情報の提供

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
51	ホームページの充実 ・地図情報を活用した情報の提供	金沢市防災マップをまちづくり支援システムに統合し、防災関連施設や公共施設などの情報をわかりやすく提供しました。	11
52	・メールニュースの拡充	メールニュースの配信先を携帯電話にも対応するとともに、配信する内容を充実させました。	11
309	・金沢の魅力をYou Tubeで配信	北陸新幹線の開業に向けて、金沢の魅力を広く発信する動画を配信しました。一部の動画については、4か国語で作成するとともに、市民等から公募した動画についても掲載しました。	11
310	広報体制の見直し検討	市の取組みを市民にわかりやすく発信するため、広報戦略検討委員会を設置し、広報体制や各種広報媒体のあり方を検討し、金沢市広報基本戦略を策定しました。	11
311	市長定例記者会見の実施	市長の定例記者会見を月1回開催するとともに、インターネットでライブ配信しました。	11

## ウ 審議会の活性化

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
312	審議会の見直し	社会経済情勢の変化に伴い、審議会等の必要性を再検証し、役割を終えたものについては、廃止を進めました。	11

## (3) 連携による新たな取り組みの推進

### ア 都市連携による行政の推進

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
313	名古屋市・高山市との連携による外国人観光客の誘致	名古屋市及び高山市と連携し、中部国際空港（セントレア）や東海北陸自動車道を利用した中部地方横断ルートの定着・確立と旅行商品造成のため、中国及び韓国を対象にプロモーション事業を展開しました。	13

イ 大学、企業との連携

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
67	大学との連携による歴史遺産関連資料のアーカイブスの構築	本市や民間が保有する歴史建造物などに関する資料を保存・整理・活用するため、大学と連携してアーカイブスを構築するとともに、資料の活用が図られるよう展覧会を開催しました。今後もさらなる資料のデータ化を推進します。	15
72	大学との連携による発達障害児等のためのネットワークの構築	発達障害のある子どもたちについて、幼児期から学齢期を通じた継続的な支援のあり方を協議するため、関係機関と大学が連携する市内組織の「発達障害支援チーム」の設置及び外部の専門家をメンバーとする「発達障害支援チーム関係者連絡会」の開催により、ネットワークを構築しました。今後は、大学等の関係諸機関との有機的な連携を図れるよう体系を充実していきます。	15
314	民間の協力による公衆無線LANの整備の推進	まちなかの賑わいやビジネスチャンスの創出、国際会議の誘致などを図るため、民間と協力して公衆無線LANを整備しました。	17
315	MICE誘致戦略の策定	北陸新幹線の開業に向けた誘客施策として、会議や報償旅行、コンベンション、展示会・イベントなどの誘致拡大のため、「金沢市MICE誘致戦略検討会議」を設置し、「金沢市MICE誘致戦略」を策定しました。	17
316	拠点性向上のための企業とのネットワークの構築	北陸新幹線の開業に伴い懸念されるストロー現象による事業所等の減少を止めるため、本市に進出する企業の方に金沢への愛着を深めてもらうことを目的に、その支店長との意見交換や情報収集の場として、92社（H24.5現在）による「拠点性向上ネットワーク」を構築し、文化施設の見学会や金沢をテーマとした講演会などを開催しました。	17
317	民間事業者等からの提案による高齢者等の買い物弱者のためのモデル事業の実施	高齢者等の買い物利便性向上策について、民間事業者等からの提案に基づいた6事業の社会実験を実施しました。今後は、社会実験での検証を踏まえ、自立に向けた支援を行い、ビジネスとしての定着を図ります。	17
318	大学との連携による女性の健康づくりへの取組の検討	金沢医科大学女性総合医療センターと連携した「女性の健康づくり検討会」を設置しました。今後は、その提言により、市HPやモバイルでの専用サイトの開設、女性スタッフによる子宮頸がんモデル検診等の事業を展開していきます。	17
320	農商工連携によるものづくり資源活用モデル事業の実施	加賀野菜など地域固有の資源を活用して新製品開発を行い、その販路を開拓するために農商工連携に取り組みました。新製品として、市内の生産農家と食品加工業者等が連携した打木赤皮甘栗かぼちゃを使用したパスタソースを開発することができました。	17

## 2 時代のニーズに即応した行政運営の確立

### (1) 効率的で機動的な行政体制の確立

#### ア 組織機構の再編

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
85	庁内分権の推進 ・ 職員の局内弾力的配置	イベントや繁忙期における従来からの弾力的な職員配置だけでなく、東日本大震災や新潟福島豪雨災害の復旧・復興支援などの緊急突発的な事案に対しても、所管局長主導のもと、特定の職種や専門的知識を持つ職員の弾力的な配置を行い、組織としての対応力を向上させました。	19
86	・ 事務決裁権限の移譲	市民にとってわかりやすい簡素で効率的な組織への改編に合わせ、事務決裁権限の適正化を図りました。	19

#### ウ 職員定数の適正化と職員の資質向上

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
101	定型業務のマニュアル化・ チェックリスト化の推進	事務引き継ぎの円滑化やミス防止のため、ガイドライン、様式を作成し、各課に推奨事例として通知を行い、推進に努めました。	21

### (2) 成果重視の行政経営システムの確立

#### ウ 民間活力・民間能力の活用

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
110	直営道路維持業務（清掃等の定期的業務）の見直しの検討	直営道路維持業務の民間委託を推進するため、平成24年度からは舗装補修業務や道路区域の除草業務の委託分を拡大するなど、業務内容を見直し、より効率的かつ機動的な実施体制としました。	23
	■ 民間委託の推進 (継) ## 民間委託による小・中学校の校務士一人校化率	本市の全小・中学校で校務士一人化を達成しました。	23

### (3) 質の高いサービスの提供

#### ア 電子自治体化の推進

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
114	公金の電子納付の検討	官公庁が参加するマルチペイメントネットワーク「ペイジー※」の導入について、研究・検討を行いました。普及率が低く、収納金額に対する導入・運営費の費用対効果が低いことから、当面、導入を見合わせることにしました。	25
116	情報セキュリティの強化 (内部監査実施)	総務省のガイドラインの全面改定を受けて、本市セキュリティポリシーを改定、施行しました。合わせて、情報セキュリティの内部監査を本格的に実施しました。	25
117	公共事業支援統合情報システム(GALS/EC)の拡充 (継) ・電子納品(工事・委託)の本格実施	調査や設計・工事などの各業務の最終成果を電子成果品として納品する電子納品を本格的に実施しました。今後は、保管管理システム(ファイルサーバ)を導入し、容易に類似工事等の閲覧を可能にするなど、利活用を促進していきます。	25
322	高機能消防指令システムの機能強化	高機能消防指令システムの更新に伴い、指令時間の短縮や消防団出動指令書の高速化、災害メール機能の拡充など、災害出動の迅速性及び正確性をの向上を図りました。	25

※ペイジーとは、税金や公共料金、各種料金などの支払いを、金融機関の窓口やコンビニのレジに並ぶことなく、パソコンや携帯電話、ATMから支払うことができるサービスです。

#### イ 窓口サービスの向上

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
123	市立図書館におけるICタグによる貸し出しの検討	金沢海みらい図書館において、開館に合わせICタグによる貸し出しを導入したが、他の図書館での導入については、各館の複数ある出入口など構造上の理由から、工事費のほか年間経費が多額になることが見込まれ、改修時に合わせ再検討することとしました。	27
125	市立病院におけるサービスの向上 ・7対1看護体制の導入	患者サービスの向上を図るため、正規看護師を52人増員し、病棟看護師の配置を「10対1看護体制」から「7対1看護体制」に移行しました。	27
127	利用者アンケートの実施	公の施設におけるサービスの向上を図るため、アンケート調査がなじまない施設を除き、全施設で実施しました。	27
323	市立病院の入院医療費へのクレジットカード支払い方式の導入	利用者の利便性を高めるため、入院医療費の支払方法にクレジットカード支払方式を導入しました。	27

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料 掲載頁
324	学校図書館への司書の配置	子どもの読書環境の充実と読書活動の推進を図るため、小中学校の学校図書館に、司書21人を週1～3回配置しました。	27

#### ウ 地球環境保全への対応

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料 掲載頁
325	地球温暖化対策の推進 ・公共レンタサイクル 「まちなか」の導入	まちなかの身近な移動手段として自転車を広く市民や来街者の利用に供するため、公共レンタサイクル（設置台数：155台、ポート：18箇所）を導入しました。	29
327	・市施設における急速充電設備の設置	電気自動車の普及促進を図るため、急速充電設備を市施設に1箇所設置し、電気自動車利用者に開放しました。	29
146	末浄水場小水力発電設備の設置	末浄水場の導水管を活用して、出力42キロワットを発電し、末浄水場の年間電気使用量を約35%削減できる小水力発電設備を設置しました。	31
328	古紙集団回収の強化	古紙の資源化率向上を図るため、「集団回収実施回数を増やす地区」と「町内会で回収情報の周知強化を図る地区」の2地区でモデル事業を実施し、回収量を6%増加させました。今後は、集団回収登録団体、町会、古紙業者等関係者との研究会を立ち上げ、さらなる回収量増加につながる方策を検討します。	31

### 3 財政の健全性の堅持

#### (1) 財政の自立性の確保

##### ウ 特別会計の健全化・健全性の維持

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
163	(継) 公営企業の次期中期経営計画の策定 ・「企業局経営計画」	経営の健全性を維持するため、新たに中期計画として、「金沢市企業局経営計画2011」を策定しました。	35
164	・「中央卸売市場中期経営計画」	経営の健全性を維持するため、第2次中期経営計画を策定しました。	
165	・「公設花き地方卸売市場中期経営計画」		

#### (2) 事務事業の見直し

##### ア 選択と集中による事業の効率化・重点化

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
173	(継) 市単独補助金の見直し	「補助金の見直し基準」により、成果や収支状況を検証し、スクラップアンドビルドを進め、29の補助金を廃止しました。	37
179	情報システムの見直し ・ホストコンピュータにおける機器構成の見直し	基幹業務の運用環境（ハードウェア）のうち、CPUを大型汎用コンピュータ専用のものから、汎用コンピュータ用とWindows等の両方を制御できる基幹サーバに切り替えることで、年間賃借料35,885千円の削減を行いました。	37
330	庁内OAシステムの維持管理費の削減	庁内のOAネットワークに接続する全パソコンにトナー節約ソフトウェアを導入し、印刷経費を約25%削減しました。	39

### イ 市有施設の見直し

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
188	施設のあり方の検討 ・生きがい情報作業センターのあり方の検討	社会情勢の変化や民間施設と競合している現状を踏まえ、施設を廃止とし、パソコンサロンへ切り替えました。	39
193	施設の延命化 ・公園施設長寿命化計画の策定	休憩施設、管理施設などの公園施設について、長寿命化計画を策定しました。	41
331	市営住宅長寿命化計画に基づく延命化の実施	平成22年度に策定した市営住宅長寿命化計画に基づき、従前より耐久性の高い塗装材を使用した外壁の改善工事等を実施しました。	41

### (3) 公共事業の適正化

#### ア 公共事業費全体規模の適正化

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
196	「金沢方式無電柱化」による整備事業費の適正化	金沢らしいまちなみの特長を活かし、主計町地区で、金沢方式無電柱化（軒下配線）による整備を行い、事業費を抑制しました。	41

#### イ 入札制度の改善

管理番号	取組事項名	実施内容	参考資料掲載頁
200	役務・物品契約における電子入札システム導入の検討	建設・工事コンサルタントに続き、役務及び物品についても電子入札の導入を検討しましたが、県が、県内市町を対象とした電子入札システムの更新時（H23.10）に、開発費用・事業者側の負担を考慮し、先送りとしたため、当面は導入しないこととしました。	43
202	役務契約における制約付き一般競争入札の拡大の検討	対象事業を800万円以上から600万円以上に拡大したことにより、落札率が2%程度低下し、一定の効果を得ることができました。	43

## IV 実施計画を見直す事項

平成23年度の達成状況等を踏まえ、次のとおり実施計画を見直します。

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料掲載ページ
9	(継) 認知症サポーター数	4,000	5,000	—	—	—	1

長寿安心プラン2012の策定に基づき、新たな目標を設定します。

H22(実績)	H23(実績)	H24	H25	H26
4,633	6,110	7,000	8,000	9,000

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料掲載ページ
■ 市民協働型防災訓練の実施							
32	実施地区数（累計）	10	15	20	25	30	7

訓練内容が地域の自主防災組織を主体とする形に大きく変更し、地域防災力の向上につながる質的改善を図っていることから、目標を修正します。

H22(実績)	H23(実績)	H24	H25	H26
8	11	14	17	20

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料掲載ページ
81	認知症サポーター認定所（事業所）数	400	500	—	—	—	17

長寿安心プラン2012の策定に基づき、新たな目標を設定します。

H22(実績)	H23(実績)	H24	H25	H26
361	403	450	500	550

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料掲載ページ
126	市立病院におけるサービスの向上 ・後発医薬品の適用率（購入額）の引き上げ		◎				27

金沢市立病院経営改善基本計画を引き継ぐ次期中期経営計画の策定に基づき、新たな目標を設定します。

H22(実績)	H23(実績)	H24	H25	H26	H28
○	○	○	○	○	◎

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料掲載ページ	
■ 温室効果ガス排出量の削減								
138	公用車への低公害車導入台数（累計）	台	255	269	283	297	310	29

金沢市役所温暖化対策実行計画2011で策定した温室効果ガス削減を達成するための指標に基づき、新たな目標を設定します。

H22(実績)	H23(実績)	H24	H25	H26
258	273	286	306	314

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料掲載ページ	
■ 温室効果ガス排出量の削減								
139	住宅用太陽光発電設備設置基数（累計）	基	690	790	890	990	1,090	29

金沢市低炭素都市づくり行動計画で策定した温室効果ガス削減を達成するための指標に基づき、新たな目標を設定します。

H22(実績)	H23(実績)	H24	H25	H26
871	1,270	2,000	3,000	4,000

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料掲載ページ	
■ 森林の公益的機能の維持増進								
144	森林の再生 ・ふるさとの森づくり協定 締結集落数（累計）	集落	100	105	110	115	120	31

平成23年度までの協定締結数の実績を踏まえ、「金沢の農業と森づくりプラン」の目標値の変更に伴い、新たに設定します。

H22(実績)	H23(実績)	H24	H25	H26
106	119	125	130	135

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料掲載ページ
166	(継) 公営企業の次期中期経営計画の策定 ・「市立病院中期経営計画」	○	◎				35

金沢市立病院中期経営計画策定後、平成19年に国の通知により経営改善基本計画を策定したことから、次期中期経営計画の策定・実施時期を変更します。

H22	H23	H24	H25	H26
	○	◎		

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26	参考資料掲載ページ
■ 病院事業特別会計							37
168	一般病床利用率の向上 %	89	90	—	—	—	

金沢市立病院経営改善基本計画を引き継ぐ次期中期経営計画の策定に基づき、新たな目標を設定します。



H22 (実績)	H23 (実績)	H24	H25	H26
86.7	87.6	86	87	88

## V 実施計画の進捗率

平成23年度までに、当初計画のうち109事項が実施済となり、進捗率は54.0%です。

区分	当初計画			H23年度までの実施済			進捗率
	取組事項	数値目標	計	取組事項	数値目標	計	
1 協働と連携による行政の推進	52	30	82	44	2	46	56.1%
2 時代のニーズに即した行政運営の確立	53	11	64	39	1	40	62.5%
3 財政の健全性の堅持	38	18	56	22	1	23	41.1%
計	143	59	202	105	4	109	54.0%

また、当初計画に平成23年度新規取組事項を加えた全体計画のうち134事項が実施済となり、進捗率は57.3%です。

区分	全体計画			H23年度までの実施済			進捗率
	取組事項	数値目標	計	取組事項	数値目標	計	
1 協働と連携による行政の推進	72	30	102	61	2	63	61.8%
2 時代のニーズに即した行政運営の確立	61	11	72	45	1	46	63.9%
3 財政の健全性の堅持	41	19	60	24	1	25	41.7%
計	174	60	234	130	4	134	57.3%

## VI 平成24年度における新規取組事項

### 1 協働と連携による行政の推進

#### (1) 役割分担に基づく市民協働の推進

##### イ 協働の担い手の育成

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26
■	地域防災の担い手の育成					
401	地域災害ボランティアコーディネーター養成数(累計) 人		54(実績)	95	135	135
402	金沢市民協働塾の開催			◎		

##### ウ 新たな協働のしくみの構築

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26
403	金沢学生のまち市民交流館の開館			◎		
404	学生のまち推進サポーター企業の登録			◎		
405	高齢社会における福祉施策を考える懇話会の開催			◎		

##### エ 市民協働による活動の推進

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26
406	美しいまちづくりの推進に関する条例の具現化			○	○	○
407	小中学校における「絆」防災教育の実践			◎		

【取組事項の段階】

△：研究・検討

□：方針決定

○：試行・一部実施・策定

◎：施行・本格実施

実 施 内 容	担当課
災害時に、地域で効果的かつ円滑にボランティアを受け入れるなど、平時から地域における防災の取組みを促進するため、地域の災害ボランティアコーディネーターを養成します。	福祉総務課
団体に所属していない個人を市民協働の担い手として育成するため、協働や地域課題などについての講義や協働事業の企画提案、事業の実施体験などを行う金沢市民協働塾を開催します。	市民参画課

実 施 内 容	担当課
平成24年秋に開館し、施設コーディネーターを配置するとともに、学生、市民による自主的なまちづくり活動への支援を行います。	市民参画課
産官学の協力体制を構築するため、学生と市の共同企画事業を支援する企業の登録制度を創設します。	市民参画課
これからの高齢者施策のあり方について、地域と協働して検討する懇話会を開催します。	長寿福祉課

実 施 内 容	担当課
条例を具現化し市民等が快適に暮らすことができるばい捨て等のない美しいまちづくりを推進するため、市民等への周知啓発や防止重点区域の指定、指導員の巡回、市民運動への支援などを行います。	市民参画課
東日本大震災の教訓を踏まえ、小中学生が、災害時に状況に応じて適切な行動ができる危機管理能力を養うため、全小中学校において、地域・P T A等と連携した防災教育を実施します。	学校指導課

## (2) 透明度の高い市政の運営

### イ わかりやすい市政情報の提供

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26
408	ホームページの充実 ・公式ホームページの全面リニューアル			△	□	◎
409	・ICT <sup>※1</sup> を活用した観光情報の発信			◎		
410	スマートフォン用アプリ <sup>※2</sup> の基盤整備			◎		

※<sup>1</sup>Information and Communication Technology の略。情報・通信に関連する技術一般の総称で、IT とほぼ同様の意味で用いられますが、「コミュニケーション（通信）」が具体的に表現されている点に特徴があります。

※<sup>2</sup>スマートフォン上で、動画を見たり、本を読んだり、ゲームをしたりすることのできるソフトウェアのことをいい、利用者が自由にインストールして、スマートフォンの機能を拡張することができます。

## (3) 連携による新たな取り組みの推進

### ア 都市連携による行政の推進

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26
411	広域連携による鉄道の利用促進			◎		
412	二次交通 <sup>※</sup> を活用した広域観光の推進			◎		
413	スポーツ活動を中心とした都市間交流			◎		

※金沢駅から市域内の様々な場所に移動するための公共交通（路線バスなど）を指します。一方、一次交通は、新幹線など都市間を移動する公共交通を指します。

### イ 大学、企業との連携

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26
414	魅力発信アプリの開発推進			◎		
415	まちなかにおける企業経営者と学生との交流会の開催			◎		

実 施 内 容	担当課
より分かりやすく使いやすいホームページをめざし、公式ホームページの全面リニューアルを実施します。	広報広聴課
市民や観光客の利便性向上のため、市と市観光協会のホームページをスマートフォンに対応させます。	広報広聴課 観光交流課
金沢の魅力や情報を広く発信するため、スマートフォン用アプリケーションソフトの導入を図ります。	情報政策課

実 施 内 容	担当課
平成23年9月に石川線・浅野川線沿線の3市1町の住民により設立された「石川線・浅野川線利用促進連絡会」、交通事業者及び行政が連携し、「鉄道沿線のおすすめスポット」のガイドブックを作成するなど、利用促進に向けた取組みを実施します。	交通政策課
高山市、南砺市、白川村及び各県のバス事業者と連携し、広域観光を推進します。	観光交流課
スポーツ交流協定を締結する都市等との交流を促進する助成制度を創設します。	市民スポーツ課

実 施 内 容	担当課
無線LANの利便性や情報発信力を実感してもらい、新たなビジネスチャンスを創出するため、アプリコンテストを実施するなど、民間主体によるスマートフォン向けアプリケーションソフトの開発を促進します。	情報政策課
学生の起業意欲を喚起するため、金沢学生のまち市民交流館で、中小企業の経営者と学生が企業活動の魅力について語り合う「まちなかココだけビジネス交流会」を開催します。	商業振興課

管理 番号	取 組 事 項 名	H22	H23	H24	H25	H26
416	医工連携促進モデル事業の実施			◎		
417	企業と連携したMICEの推進			◎		
418	産学官連携就業体験モデルの実施			◎		
419	大学と連携したホスピタリティアート <sup>※</sup> の推進			◎		
420	大学との耐震補強工法の研究			△	□	

※病院内を、患者さんにとって安らぎのある空間とするため、アートを媒介として環境改善を図ろうとする取組みのことをいいます。

実 施 内 容	担当課
最先端の工業技術により、医療分野での課題解決を図る取り組みを支援し、医工連携を促進します。	ものづくり産業支援課
官民共同で「金沢市MICE推進協議会」を設立し、誘致活動を強化するとともに、国際会議観光都市連絡協議会を金沢で開催します。	観光交流課
学生の就労体験や企業見学を通じた地元企業を知る機会を拡大し、学生の地元企業での採用を促進します。	労働政策課
金沢美術工芸大学と連携し、病棟の水回りの改修に合わせ、アートを媒介として環境改善を図り、安らぎの空間を提供します。	市立病院事務局
簡易かつ安価な耐震補強工法について、金沢工業大学と共同研究することにより、木造住宅の耐震性の改善を図り、市民の安全を確保します。	建築指導課

## 2 時代のニーズに即応した行政運営の確立

### (1) 効率的で機動的な行政体制の確立

#### イ 外郭団体の見直し（新公益法人制度への対応）

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26
421	外郭団体のあり方の検討 ・外郭団体のあり方検討会（仮称）の開催			△	□	

#### ウ 職員定数の適正化と職員の資質向上

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26
422	職員提案制度の拡充 ・業務改善運動の推進			◎		

### (2) 成果重視の行政経営システムの確立

#### ウ 民間活力・民間能力の活用

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26
423	広告掲載による新たな収入の確保			◎		

### (3) 質の高いサービスの提供

#### ア 電子自治体化の推進

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26
424	地域・行政課題等に対するICT利活用の検討			□		
425	課税資料イメージ管理システムの導入			◎		
426	森林情報管理システムの効率化			◎		
427	都市計画図のデジタルデータ化			◎		
428	同報防災無線のデジタル化の促進			◎		

実 施 内 容	担当課
外郭団体の自立化に向けた改革を促進するため、経営改革を実践し、団体の中・長期的なあり方を検討する「外郭団体のあり方検討会（仮称）」を開催します。	行政経営課

実 施 内 容	担当課
一課一改善運動を拡充し、職員の創意工夫に基づく改善運動を全庁的に推進します。	行政経営課

実 施 内 容	担当課
市ホームページや印刷物などに企業広告を掲載し、新たな収入を確保します。	行政経営課

実 施 内 容	担当課
地域や行政の課題解決や電子自治体推進等に向けて効果的な I C T 利活用を検討します。	情報政策課
個人市・県民税の課税資料をイメージデータで管理するシステムを導入することで事務の効率化と市民サービスの向上を図ります。	市民税課
既存システムを効率的に活用するため、森林資源情報や地籍情報などを一元化した、地理情報システム（G I S）を開発します。	森林再生課
紙媒体で管理していた都市計画図をデータ化することで、事務の効率化と経費の削減を図ります。	都市計画課
住民への情報伝達の迅速性・確実性を高めるため、防災無線のデジタル化と機能アップした受信設備を緊急整備します。	危機管理課

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26
429	ネットによる公金クレジットカード決済サービスの導入の検討			□		

イ 窓口サービスの向上

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26
430	市民センター機能の拡充			◎		
431	図書館の開館時間の繰り上げ			◎		

ウ 地球環境保全への対応

管理番号	取組事項名	H22	H23	H24	H25	H26
■	温室効果ガス排出量の削減					
432	事業用太陽光発電設備設置費補助制度利用件数(累計)	件		10	20	30
433	省エネナビの貸し出し数(累計)	件		75	150	225
■	市有施設へのペレットストーブ導入の促進					
434	導入台数	台		3	1	
435	再生可能エネルギー導入プラン(仮称)の策定			□		
436	マイクロ水力発電の事業化の検討			□	○	○
437	スマートシティ <sup>※</sup> 事業化の検討			□		

※家庭や事業所等がICTによって連結することで、エネルギーの最適活用を図り、できる限り再生可能エネルギーを地産地消するまちづくりのことをいいます。

実 施 内 容	担当課
インターネットにより、クレジットカードで市税や国民健康保険料等を納付する公金クレジットカード決済サービスの導入について研究します。	会計課

実 施 内 容	担当課
市民サービスの向上のため、湊・本町・近江町市民サービスコーナーを市民センターに格上げし、取り扱い業務を拡充します。	市民課
児童・生徒の図書館利用を促進するために、夏休み期間中の開館時間を30分繰り上げ、午前9時30分からの開館とします。	図書館総務課

実 施 内 容	担当課
再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギー自給率を向上させるため、事業者が設置する太陽光発電システムの設置を支援します。	環境政策課
一般家庭に省エネナビの貸し出しを行うことで、家庭における継続的な省エネルギー活動を推進します。	環境政策課
環境負荷の少ない木質バイオマスの活用促進のため、ペレットストーブや木質バイオマスボイラーの市有施設への導入を進めます。	環境政策課
地産地消を進めるため、再生可能エネルギーの導入や未利用エネルギーの活用に関するプランを策定します	環境政策課
再生可能エネルギーの理解を深めるため、公共施設に環境負荷の少ないマイクロ水力発電施設を導入します。	環境政策課
再生可能エネルギーを活用するまちづくりをめざし、スマートシティ構想を策定します。	住宅政策課

### 3 財政の健全性の堅持

#### (1) 財政の自立性の確保

##### イ 市税等の収納体制の強化

管理 番号	取 組 事 項 名	H22	H23	H24	H25	H26
438	コンビニ収納の導入 ・ 国民健康保険料			○	◎	

##### ウ 特別会計の健全化・健全性の維持

管理 番号	取 組 事 項 名	H22	H23	H24	H25	H26
439	病院事業特別会計 ・ 地方公営企業法の全部適用			□	◎	
440	・ 企業債の繰上償還の実施			◎		

実 施 内 容	担当課
国民健康保険料の収入率の向上と市民の利便性向上を図るため、国民健康保険料のコンビニエンスストアでの収納に向けた体制を整備します。	医療保険課

実 施 内 容	担当課
病院経営の自主性を高めるとともに、一層の効率化を進めるため、地方公営企業法の一部適用から全部適用に移行します。	市立病院事務局
財政融資資金の繰上償還を行い、利子負担の軽減と企業債残高の縮減を図ります。	市立病院事務局